

第1回 隠岐の島町都市計画審議会立地適正化計画検討委員会 議事要旨

日時：令和2年8月25日（火）午前9:00～11:00

会場：隠岐の島町ふれあいセンター2階 第1会議室

立地適正化計画の考え方について

- ・施設の再編・統合や居住誘導によって、持続可能でコンパクトな形にしなければならない。（細田委員）
- ・例えば20年後は小中学校が島内に1校ずつになるだろうというように、将来を見据えて計画について考えなければならない。（細田委員）
- ・都市計画区域以外の地域の生活利便施設等の指針についても触れるべきではないか。（細田委員）
- ・都市機能誘導区域や居住誘導区域を設定することにより空き家対策が滞る可能性があるため、空き家対策をより円滑に進められるような事業や助成制度が必要になるのではないか。（細田委員）
- ・より便利なところに集まり将来にわたってまちを維持していこうという考え方だと思う。そのためにはまず現在の状況からどこが便利な場所であるのかを考えなければならない。（橋本委員）
- ・将来を担う子どもたちに島に帰ってきたくような教育やまちづくりをしてほしい。（篠原委員）
- ・まちのことだけでなく、隠岐の美しい自然を守っていくことも併せて考えてほしい。（篠原委員）
- ・バスを利用している方はほとんどいないにもかかわらず、バスの利用を前提として都市計画を考えていくことは現状に合っていないのではないか。（徳畑委員）
- ・施設や住居を集めていくにあたって、土地の価格も考慮して進めなければならないと思う。（徳畑委員）
- ・西郷港周辺の活性化だけでなく、より視野を広く持って考えてもらいたい。（徳畑委員）

現況把握（資料）について

- ・生活利便施設が集まっていて便利な場所はどこか。（橋本委員）
- ・空き家について、より詳細な地域ごとのデータを示してもらいたい。（村上委員）